



一年間の締めくくり

弥生3月とは名ばかり、今年はこのほか厳しい寒さが続きますが、春の気配はそこはかとなく近づきつつあります。三学期も残りわずか、学校としては1年間を締めくくる時期であり、子どもたちにとっては次の学年への足がかりを作る時期でもあります。その大切な時期、私たち学校職員もまた気持ちを新たに、子どもたちを支え、ある時には厳しく鍛えながら、子どもたちの成長を導く努力をしていきたいと考えております。

さて、3月19日には36名の6年生に卒業証書を手渡します。いま学校では卒業に向け、6年生は懸命に小学生生活最後の行事に取り組み、在校生は6年生へのこれまでの感謝の気持ちを伝えよう、また新しい喜びをつくろうといろいろな行事に取り組んでいます。

この1年間、最高学年の6年生は、学校生活のあらゆる場面にリーダーとして力を発揮し、期待にこたえる十分な働きをしてくれました。また、4月に入学した1年生も、十分に学校生活に慣れ、あどけなさの中にも自信あふれる言動が数多くみられるようになりました。2年生から5年生もそれぞれが立派に成長してくれました。

ところで子どもたちの成長にとって大切なことは、子どもに関わる方々が様々な視点から子どもたちの成長を確認し、子どもたちに具体的な言葉で伝えてあげることだと言われています。学校だけでなく、保護者や地域の方々から自らの成長の様子を伝えられた子どもの心は図りしれない喜びと充実感に包まれます。子どもは認められてたくましく成長していきます。今一度、保護者や地域の皆さんも子どもたちの成長を振り返って見ていただけたらと願っています。

見守り隊ありがとう集会

子ども安全見守り隊の皆さんには、子どもたちの登下校時にできる時にできる範囲で街角に立って子どもたちの安全を見守っていただいています。

現在約30名の方に登録いただき感謝しております。

去る26日、見守り隊の皆さんをお招きし「見守り隊ありがとう集会」を行いました。子どもたちは日頃お世話になっていることに対して感謝の言葉を伝え、各クラスで一生懸命作成した手づくりの感謝状を手渡しました。

見守り隊の皆さん、これからもよろしくお願ひします。



金先生との学習

豊中市教育委員会の金先生との学習会を実施しました。低学年はいろいろな遊びや民話などを通して、中学年は言葉や習慣を通して、高学年は歴史や在日の方々の存在を通して日本と韓国・朝鮮の結びつきの深さや、違いを認め合うことの大切さを学びました。



お願い

お子様のことで気になること（いじめ・不登校・体罰等）がありましたら、本校に相談窓口（校長・教頭・養護教諭・担任等）を設けていますのでご相談ください。

やさしい ことば
やさしい えがき

本の読み聞かせ「ざいん」

本年度最後の読み聞かせボランティア「ざいん」の活動がありました。絵本を読んでいただいている間、子どもたちは真剣に聞き入っていました。ボランティアの皆さんの感想を紹介します。

- ・皆、楽しく聞いてくれるのでやりがいがあります。
- ・集中力があって毎回感心します。
- ・先生も一緒になって楽しみにしてくれていました。
- ・子どもの素直な気持ちが大変大変うれしかったです。

子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができる読み聞かせボランティア、一度皆さんも参加していただませんか。興味のある方は学校までご連絡ください。

長生会交流 昔のくらし

23日、3年生は長生会の人に持ってきていただいた古い生活道具を使って、昔の生活の様子を学習しました。子どもたちは興味深く見たり触れたり、また長生会の人に「これは何」「昔の生活はどう？」などと質問をしたりと楽しい交流の機会を持つことができました。

また七輪を使って、火おこしを体験し、おもちゃを焼くこともさせていただきました。

長生会の皆さん、ありがとうございました。



研究授業 1年・2年

14日、2年生の道徳の研究授業を行い、市教委の大西先生からご指導をいただきました。また20日には、大阪府教育センター授業力向上指導員の長谷川先生に1年生の音楽の授業を見ていただきました。

言語活動の大切さとそれを引き出す方法について教示いただき、子どもたちがいきいきと発言し、課題に取り組んでいる姿を評価していただきました。

今後とも、授業力向上のための研究授業の取り組みを進めていきたいと考えます。